

「おおいた教育の日」の趣旨を普及し、学校、家庭、地域が教育の協働の取組を推進するため、エッセーを募集します。

【テーマ】「わがまちの誇り」

【応募資格】 大分県民または県外在住の方で大分県に想いを寄せる方

【募集内容】 《小学校の部》 400字原稿用紙3枚以内
《中学校・高等学校の部》 400字原稿用紙4枚以内
《大学等・一般の部》 400字原稿用紙4枚以内

【募集期限】 9月1日(木) [当日消印有効]

※表彰・副賞があります。

【応募・問い合わせ】 大分市府内町3丁目10番1号 大分県教育の日推進会議事務局 (県教育庁社会教育課) ☎097・506・5528

平成28年度「ときめき作品展」作品募集

障がい者・児の方々の芸術・文化に対する取り組みの成果を発表する機会として「ときめき作品展」が開催されます。芸術・文化活動に寄せる意欲を一層高め、より自発的で積極的な文化活動と社会参加を応援します。

【出展資格】 県内在住の障がい者・児

【出展作品】 絵画・写真・書・陶芸・工芸

【募集期間】 8月1日(月)～31日(水)

▼作品展示

【日程】 11月10日(木)～14日(月) 10時～17時(14日のみ12時まで)

【会場】 アートプラザ アートホール(大分市荷揚町)

【主催】 大分県障害者社会参加推進協議会

※出展を希望される方は左記までご連絡ください。募集要項および出展申込書を送付いたします。

【問い合わせ】 福祉推進課 障害福祉係 ☎0977・7512405 (内線164)

放送大学 4月生募集

放送大学はBSテレビ・インターネット等を利用して授業を行う国内最大級の通信制大学です。あなたも放送大学で学んでみませんか。

【オープンキャンパス】 8月7日(日)・8月28日(日)・9月4日(日)

【出願期限】 《第1回》8月31日(水)《第2回》9月20日(火)

【問い合わせ】 放送大学大分

学習センター ☎097・549・6612

講習・試験

下水道排水設備工事責任技術者更新講習

【日時】 11月8日(火) 14時～16時

【会場】 宇佐市勤労者総合福祉センター(宇佐市四日市)

【受講料】 3000円

【対象者】 平成29年3月31日の有効期限のもので、現在登録者名簿に登録されている者

【申込期間】 8月1日(月)～12日(金)

【申込・問い合わせ】 上下水道課 ☎0978・622717

下水道排水設備工事責任技術者共通試験

【日時】 10月30日(日) 9時45分～12時

【会場】 ホルトホール大分3階 大会議室(大分市金池南)

【受験料】 5000円

【申込期間】 9月1日(木)～12日(月)

※受験資格等、詳しくはお問い合わせください。

【申込・問い合わせ】 上下水道課 ☎0978・622717

狩猟免許更新

▼杵築会場：杵築市健康福祉センター 多目的ホール

《第一種・第二種銃猟》8月20日(土)

《網猟・わな猟》8月21日(日)

▼国東会場：国東総合庁舎(国東市国東町)

《網猟・わな猟》9月10日(土)

【申込期間】 8月22日(月)～30日(火)

▼大分会場：大分県庁舎本館 正庁ホール(大分市大手町)

《第一種・第二種銃猟》10月8日(土)

《網猟・わな猟》10月9日(日)

【申込期間】 9月15日(木)～28日(水)

【申込・問い合わせ】 東部振興局森林管理班 ☎0978・720156

就職

福祉・介護の職場を体験してみませんか！

福祉・介護の仕事に関心をお持ちの方であれば、どんなでも結構です。

【体験期間】 平成29年2月28日(火)までの期間で、おおむね3日間(本人の希望を尊重)

祝お誕生

6月中受付分(親 行政区)

おのの 大神 克揮(康司中)
おのの 大畑 統幸(一幸)
かづみ 加藤 陽真(剛士)
かづみ 亀井 美娘(辰徳)
かづみ 吉良 大和(善之)
かづみ 工藤 結莉(周司)
かづみ 後藤 紇乃(俊介)
かづみ 中野 向葵(弘治)

おのの 小谷 下原
おのの 塩田
おのの 野添
おのの 宗近
おのの 馬場尾

5212



人権コラム

気づき

NO.7

今回は、「差別」について考えてみましょう。

憲法14条第1項には、「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と規定されています。

このように、「差別してはいけない」ということを、みなさん理解していると思います。しかし、いまだに差別や人権侵害は後を絶ちません。

2013年県民意識調査によると、「同和地区の人を見下し、排除する差別意識はまだあると思いますか」という質問に、「同和地区住民に対する差別意識はある」と回答した人の割合は42%となっています。

「部落、部落といい過ぎるから、かえって差別が起こるのではないか。」とか「自然に融合して差別はなくなっていくのではないか。」「学校で部落問題を教えるから、部落に対する差別意識が生まれたり、差別事件が起こったりするのではないか」という意見は、以前からもありましたが、部落問題や人権侵害を考えるうえで、最も大切なことは現実を正確に知ることです。

他人と比べたり、偏見や思いこみ、迷信や言い伝えを信じていないでしょうか。現在でも非合理で前近代的な意識、精神風土は依然根強く残っています。これらは、知識があれば間違っていると分かります。無関心や認識不足が大きな問題なのです。

自分の中にある差別の芽に気づき、同和問題についての正しい理解と知識を深め、わたしたち一人ひとりの心の中にある差別意識を見つめ直すことが、差別のない、明るく暮らせるまちづくりにつながります。

〔社会教育課、人権・同和対策課、隣保館〕

ご冥福をお祈りいたします

※6月中受付分(行政区・享年)

※希望者のみ掲載※原則五十音順

※希望者のみ掲載※五十音順

阿部 エミ(西上)
安部 武彦(南畑)
岩尾 法光(福林)
小川 健治(南台東)
加藤 政子(下切)
児玉 ヨシノ(東部)
小林 五月(灘手)
小室 榮一郎(小野尾)
新井 昭男(若宮)
谷 健三(野辺)
平岡 エミ(鴨川)
藤井 俊二(影平)
藤原 アサカ(小狭間)
前田 幸輔(小狭間)
山口 トミ子(南畑)
山田 節子(仲町)
山田 實則(鶴成)

83 75 96 74 74 88 61 90 91 75 87 98 84 90 78 93 87 95